

## 2020年度第2回京都競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 牛若丸ジャンプステークス

牛若丸（うしわかまる）は、源平合戦で大活躍した源氏の武将、源義経の幼名。義経は、壇ノ浦の戦いで、敵将平教経と遭遇した際に、舟と舟との間を飛び移ったとされ、その距離が舟八艘分もあったことから「八艘飛び」の名で知られている。

#### ○ 梅花賞

梅花（ばいか）は、梅の花のこと。梅はバラ科の落葉小高木。2～3月頃に開花し、強い香りを放つ。北野天満宮の境内神域には約50種、1500本の梅の木があり、この時期の梅苑では白梅、紅梅、一重、八重と色とりどりに咲く梅を目にすることができる。花言葉は「高潔」「忠実」。

#### ○ 花見小路特別

花見小路（はなみこうじ）は、京都市東山区北西部にある通りの呼称。北は三条通りから南は安井北門通りまでの小路のことを言う。祇園歓楽街の中心を貫き、四条通より南側の沿道は石畳で舗装され、「都をどり」の行われる歌舞練場やお茶屋、町家などが立ち並ぶ。

なお、同通り沿いにはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ京都がある。

#### ○ 舞鶴ステークス

舞鶴（まいづる）は、京都府北部の市。幕末までは田辺城の城下町として、明治以降は旧日本海軍の軍港として栄えた。海岸は若狭湾国定公園に含まれ、入江と岬が織りなす天然の造形美が雄大に広がる。

### <第2日>

#### ○ 大津特別

大津（おおつ）は、滋賀県南西部の市。滋賀県の県庁所在地。古くから湖上、陸上交通の要衝として栄え、都が置かれたこともあった。市内には延暦寺・日吉大社・石山寺・義仲寺など由緒ある寺社のほか、大津京跡・膳所城跡などの史跡も多い。

#### ○ 飛鳥ステークス

飛鳥（あすか）は、奈良県高市郡明日香村一帯の地域。6世紀末から7世紀にかけて、この地に天皇の宮が多く所在した。この時代を飛鳥時代と呼び、同地域には、当時を偲ぶ飛鳥寺や高松塚古墳などの史跡がある。

## ○ シルクロードステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された重賞競走。12年に高松宮記念が3月に移設されたことに伴い、本競走の実施時期も従来の4月から現在の時期に変更となった。また、14年より負担重量が別定からハンデキャップへ変更となっている。

シルクロード（Silk Road）は、中央アジアを横断する古代の東西交通路の名称。名は、絹が中国からこの道を通って西方に運ばれたことに由来する。奈良の正倉院には、シルクロードを通じて伝わったとされる中国製やペルシア製の宝物が数多く現存している。

## <第3日>

### ○ 稲荷特別

稲荷（いなり）は、京都市伏見区の山。東山連峰の南端に位置する。西麓には、秦伊呂具（はたのいろぐ）が鎮守神として創建したとされる伏見稲荷大社があり、山麓から山頂まで千本鳥居が続いている。同大社は、全国の稲荷神社の総本社として信仰を集めている。

### ○ エルフィンステークス（L）

エルフィン（Elfín）は、「小さい妖精のような」を意味する英語。チュートン民話において、魔力をもった妖精は、森や野に住み、いたずら好きとされている。

### ○ アルデバランステークス

アルデバラン（Aldebaran）は、おうし座の一等星。アラビア語で「後に続くもの」を意味する「アル・ダバラン」に由来する。カペラ・ポルックス・プロキオン・シリウス・リゲルと共に「冬のダイヤモンド」を構成している。

## <第4日>

### ○ 橿原ステークス

橿原（かしはら）は、奈良県中西部の市。中世には、市の中心部が寺内町として発展した。神武天皇の皇居は、畝傍（うねび）橿原宮と呼ばれ、現在の橿原神宮は、その皇居跡と推定される地に建てられた。

### ○ 山城ステークス

山城（やましる）は、五畿内のひとつで、京都府南部にあたる旧国名。古くは「山代」と書いたが、山河が襟帯しており、城を成す形をしていることから、延暦13年（794）の平安京遷都時に改字されたと言われている。

## ○ きさらぎ賞（GⅢ）（NHK賞）

本競走は、昭和36年に創設された3歳馬の重賞競走。当初は中京競馬場で実施されていたが、62年から京都競馬場に舞台を移し、距離も創設時の1800mから2000mへ延伸された。その後、同競馬場1800mコースの新設により平成3年から再び1800mに短縮され、現在に至る。

きさらぎ（如月）は、陰暦で2月の異称。

NHKは、日本放送協会の略称。本競走は、同協会より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第5日>

### ○ 宇治川特別

宇治川（うじがわ）は、京都府宇治市から京都盆地へと流れ出る川。琵琶湖を水源として流出する唯一の川で、上流部では瀬田川と呼ばれ、京都と大阪の府境付近で桂川や木津川と合流して淀川となる。宇治市内の河岸には、平等院や宇治上神社などがある。

### ○ 松籟ステークス

松籟（しょうらい）は、松の梢に吹く風の音のこと。松風、松韻とも言う。松は、古くから神の宿り、節操や長寿を象徴する神聖な木として尊ばれている。

### ○ 洛陽ステークス（L）

洛陽（らくよう）は、平安京の左京の称。右京を長安と称するのに対する。また、京都の異称。名は、後漢など中国の王朝の首都であった洛陽に由来する。

## <第6日>

### ○ こぶし賞

こぶしは、モクレン科の落葉高木。名は、つぼみが握りこぶしに似ていること、果実に握りこぶし状の凹凸があることから付けられた。花言葉は「友愛」「歓迎」。

### ○ 北山ステークス

北山（きたやま）は、京都北方の船岡山・衣笠山・岩倉山などの諸山の総称。また、京都市北部の通りの名。室町幕府の3代将軍足利義満が山荘を営んだ京都北山にちなんで、当時の文化を北山文化と呼ぶ。

## ○ 農林水産省賞典京都記念（GⅡ）

本競走は、昭和 17 年に創設された重賞競走。25 年までは 3000m～3500m、27 年以降は 2000m～2200m で実施されていたが、44 年から 2400m に延伸された。また、毎年春・秋の年 2 回実施されていたが、59 年より年 1 回となり、平成 6 年には距離が 2200m、負担重量がハンデキャップから別定へと変更された。

## <第 7 日>

### ○ つばき賞

つばきは、ツバキ科の常緑高木。関東以北では海岸地帯に点在し、ヤブツバキとも呼ばれる。日本では古代より植栽されており、観賞花として品種改良が行われた。花言葉は「完全な愛」「誇り」。

### ○ 河原町ステークス

河原町（かわらまち）は、京都市中央部を流れる鴨川西岸沿いに発展している通りおよびその周辺地域。安土桃山時代に豊臣秀吉が築いた御土居（京都を囲んだ堀）の外にある。河原町三条から四条河原町にかけては繁華街となっている。

### ○ 京都牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、3 歳以上の牝馬限定競走として昭和 41 年に創設された重賞競走。当初は 2000 m で実施されていたが、43 年からは 1600m に（54 年、59 年を除く）、平成 28 年より 1400 m に短縮され、現在に至る。また、13 年に『京都牝馬特別』から『京都牝馬ステークス』へ改称された。

## <第 8 日>

### ○ 春日特別

春日（かすが）は、奈良市およびその周辺地域。特に、奈良市春日野町にある春日大社の付近を指す。平成 10 年に「古都奈良の文化財」のひとつとして世界遺産に登録された。

### ○ 斑鳩ステークス

斑鳩（いかるが）は、奈良県北西部、生駒郡の町。名は、聖徳太子が造営した斑鳩宮跡に由来する。法隆寺・中宮寺・法輪寺などの社寺があり、仏教の中心地である。町内西部の竜田川流域は県立竜田公園として整備され、紅葉の名所として知られている。

## ○ 大和ステークス

大和（やまと）は、奈良県全域を占める旧国名。五畿内のひとつで、飛鳥京・藤原京・平城京などの都が置かれ、室町時代初期までは寺社が大きな勢力を誇っていた。明治 9 年に堺県（現在の大阪府堺市）と合併し、20 年に奈良県として分離した。また、日本の異称としても用いられる。